
『大原社会問題研究所雑誌』 2006年度総目次

- (1) 2005年度の総目次は、2006年3月号 (No.568) を参照されたい。
- (2) 2004年度の総目次は、2005年3月号 (No.556) を参照されたい。
- (3) 2003年度の総目次は、2004年3月号 (No.544) を参照されたい。
- (4) 2002年度の総目次は、2003年3月号 (No.532) を参照されたい。
- (5) 2001年度の総目次は、2002年3月号 (No.520) を参照されたい。
- (6) それ以前の総目次の所在については、2002年3月号 (No.520), 1992年3・4月合併号 (No.400・401) を参照されたい。なお、大原Webサイト (<http://oisr.org/>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、公開を行っている。

【2006年4月号 No.569】

【第18回国際労働問題シンポジウム】

若者：雇用の促進とディーセント・ワークへの道

特集にあたって 早川征一郎

2005年のILO第93回総会について 堀内光子

ILOにおける審議をめぐって 田中 歩

労働者の立場から 湯本健一

使用者の立場から 平田 充

ILO『レポート』と日本 上西充子

質疑応答

参考資料 若年雇用に関する決議 (2005年第93回ILO総会採択, ジュネーブ) (仮訳: ILO 駐日事務所)

論 文 産業革命期日本における重工業大経営労働者の「都市下層民」的性格について (下)

西成田豊

研究回顧 修業時代の実態調査 (中) ——共同印刷職場調査 (1954～55年) [2] 山本 潔

書評と紹介 ロイドン・ハリスン著/大前眞訳『ウエップ夫妻の生涯と時代——1858～1905年: 生涯から協同事業の形成まで』 都築忠七

森廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者——歴史と現実』 市原 博

水野谷武志著『雇用労働者の労働時間と生活時間——国際比較統計とジェンダーの視角から』

三富紀敬

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 「活憲」論研究序説 五十嵐仁

所 報 2005年12月

【2006年5月号 No.570】

【特集】韓国労働市場と雇用問題

- 韓国における労働市場の変化と経済危機——長期的観点からの分析（1963～2005年） 宣在源
韓国製造業の企業規模別雇用創出と消失 権恵子／佐藤静香訳
- 論文 欧米諸国における障害給付改革——障害年金を中心に 百瀬 優
- 研究回顧 修業時代の実態調査（下）——三井美唄炭鉱見学記（1958年） 山本 潔
- 書評と紹介 崎山治男著『「心の時代」と自己——感情社会学の視座』 岡原正幸
濱谷正晴著『原爆体験——六七四四人・死と生の証言』 谷 富夫
森ます美著『日本の性差別賃金——同一価値労働同一賃金原則の可能性』 黒田兼一
Bruce E. Kaufman ed., *Theoretical Perspectives on Work and the Employment Relationship* [仕事と雇用関係の理論的視座] 鈴木 玲
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2006年1月

【2006年6月号 No.571】

【特集】韓国における賃金構造と貧困問題

- 韓国の賃金構造 黄秀慶／友岡有希訳
韓国の貧困問題 柳貞順／佐藤静香訳
- 論文 1952年夏の全自日産分会のプレミアム闘争——全自の賃金原則とのかかわりで 吉田 誠
- 研究回顧 わたしの研究生活を語る 塩田庄兵衛
- 書評と紹介 堀江孝司著『現代政治と女性政策』 浅野富美枝
佐々木英一著『ドイツ・デュアルシステムの新展開——日本版デュアルシステムへの示唆』
大重光太郎
- エリック・ホブズボーム著／河合秀和訳『わが20世紀・面白い時代』 佐伯哲朗
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 地方自治体における先進的高齢者福祉の達成と挫折——秋田県鷹巣町の事例 山本補将
OISR.ORGの窓 [5] 『「社会・労働運動大年表」データベース』開設 野村一夫
所 報 2006年2月

【2006年7月号 No.572】

【特集】韓国の労働運動と労使関係

- 韓国の女性労働と労働運動——非正規職化を中心に 張芝延／横田伸子訳
経済危機以降の韓国労使関係 朴昌明
- 論文 家族ヘルパー派遣の決定要因——全村調査より 菊池いづみ
- 研究ノート 「共同学習」における中国の影響 劉全勝
- 書評と紹介 金東椿著／水野邦彦訳『近代のかけ——現代韓国社会論』 文京洙
刊行委員会編監『山本正美治安維持法裁判陳述集——統／山本正美裁判関係記録・論文集』
伊藤 晃

中村圭介・連合総合生活開発研究所編『衰退か再生か：労働組合活性化への道』 白井邦彦
国際労働研究センター編著『社会運動ユニオニズム——アメリカの新しい労働運動』

熊沢 誠

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 トヨタ生産システムは構想と実行の「再結合」か？——労働者の「熟練」化の批判的検討をつ
うじて 永田 瞬

OISR.ORGの窓 [6]「高野岩三郎・D.リャザーノフとの往復書簡（1928～1930年）」を公開 早川征一郎
所 報 2006年3月

【2006年8月号 No.573】

講 演 韓国における産別労組建設運動：成果と課題 林榮一／金元重訳

論 文 韓国の労働時間短縮過程と今後の課題 尹辰浩／佐藤静香訳

総合デカセギ業の誕生——日系旅行社の変容とブラジル日系コミュニティの資本蓄積

丹野清人

児童相談所の組織構成の成立過程——三部制の導入をめぐる 岩永公成

書評と紹介 名古屋忠著『ウェット夫妻の生涯と思想——イギリス社会民主主義の源流』 大前 眞

山田昭次・古庄正・樋口雄一著『朝鮮人戦時労働動員』 飛田雄一

中筋直哉著『群衆の居場所——都市騒乱の歴史社会学』 梅田俊英

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 IT化の進展と「仕事機会」の関係——「プロジェクト的な働き方」についての一考察 江頭説子

OISR.ORGの窓 [7] 「研究所所蔵資料を展示・公開している施設」のこと 若杉隆志

所 報 2006年4月

【2006年9・10月号 No.574・575】

【国際シンポジウム】日本とロシア——戦争の100年，平和の150年

特集にあたって 相田利雄

ロシアから見えるアジア極東と日ロ戦争 タチヤーナ・フィリモノヴァ（坂本博訳）

日ロ戦争と風刺に見る〈力の政治〉の考察 ソク・ファジョン

日本における日ロ非戦論 梅田俊英

ロシア思想に現れた日本 坂本 博

日ロ関係の転機としての日ロ戦争 コンスタンチン・サルキーソフ

諸報告へのコメント（その1） 和田春樹

諸報告へのコメント（その2） ユ・ヒョジョン

質疑応答

書評と紹介 松丸和夫監修・労働運動総合研究所編『グローバル化のなかの中小企業問題』 小宮昌平

川合隆男著『近代日本における社会調査の軌跡』 濱谷正晴

森岡孝二著『働きすぎの時代』 永田 瞬

川手撰著『戦後日本の公務員制度史——《キャリア》システムの成立と展開』 早川征一郎

社会政策学会会員研究業績一覧(2005年) 社会政策学会

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所2005年度の歩み

月例研究会 フランスの移民事情 佐伯哲朗

所 報 2006年5・6月

【2006年11月号 No.576】

【特集】韓国における非正規労働者と労使関係

日韓労使関係の比較——非正規労働者を中心にして 呉学殊

韓国金属産業における労使関係——企業別組合から産業別組合へ転換 相田利雄

研究回顧 社会政策論と労使関係の比較研究(上) 徳永重良

読書ノート 錯綜する「護憲」運動論——五十嵐仁著『活憲』を読んで 高橋彦博

書評と紹介 中澤秀雄著『住民投票運動とローカルレジーム——新潟県巻町と根源的民主主義の細道, 1994-2004』 矢澤修次郎

三富紀敬著『欧米のケアワーカー——福祉国家の忘れられた人々』 垣内国光

中野育男著『米国統治下沖縄の社会と法』 高藤 昭

川崎兼孝・久米雅章・松永明敏, 鹿児島県歴史教育者協議会始良・伊佐地区サークル著『鹿児島近代社会運動史』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 地域労働運動の可能性——国際比較の観点から 鈴木 玲

所 報 2006年7月

【2006年12月号 No.577】

論 文 EU憲法における「連合の目標」としての社会的市場経済 石井 聡

雑誌『第三帝国』の普通選挙請願運動に関する一考察 福家崇洋

特別寄稿 大日本産業報国会資料の表と裏 桜林 誠

研究回顧 社会政策論と労使関係の比較研究(下) 徳永重良

書評と紹介 小杉礼子・堀有喜衣 [編]『キャリア教育と就業支援——フリーター・ニート対策の国際比較』

上西充子

鈴木玲・早川征一郎編著『労働組合の組織拡大戦略』 三浦まり

小西豊治著『憲法「押しつけ」論の幻』 五十嵐仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2006年8月

【2007年1月号 No.578】

論 文 2005年連邦議会選挙とドイツ政党政治の変容——理論モデルの再検討を通じた思想史的分析和

展望 小野 一

- 特別寄稿 日本戦没学生の思想——『新版・きけわだつみのこえ』の致命的欠陥について（上）岡田裕之
資料紹介 造船業の「労働時間」（1957年）——電溶職場（本工・社外工）の『着到表』 山本 潔
書評と紹介 白波瀬佐和子編『変化する社会の不平等——少子高齢化にひそむ格差』 海野道郎
小越洋之助著『終身雇用と年功賃金の転換』 片岡洋子
吉田豊明著『伝説の地方紙「石見タイムズ」——山陰の小都市浜田のもうひとつの戦後史』

吉田健二

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2006年9月

【2007年2月号 No.579】

- 論 文 黎明期労働運動と近代文学——横山源之助と岸上克巳 立花雄一
研究ノート 協調会イメージの再構成——書評『協調会の研究』7点を承けて 高橋彦博
特別寄稿 日本戦没学生の思想——『新版・きけわだつみのこえ』の致命的欠陥について（下）岡田裕之
史料紹介 日本共産党第三回（「五色温泉」）大会決定の宣言、規約 解題：犬丸義一
書評と紹介 小川晃一著『サッチャー主義』 梅川正美
村上安正著『足尾銅山史』 二村一夫
村串仁三郎著『大正昭和期の鉱夫同職組合「友子」制度——統・日本の伝統的労資関係』

土井徹平

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 近代日本における社会運動と高知県 梅田俊英

所 報 2006年10月

【2007年3月号 No.580】

【特集】国際的循環型社会形成の可能性

- 国際的循環型社会形成の可能性 松波淳也
台湾におけるリサイクルの現状と課題 南部和香
パソコンリサイクルシステムの国際比較——台湾を事例として 赤石秀之
日本と台湾の電力市場における規制緩和と環境問題への取り組み 大平佳男
学会報告 労働政治の構造変化と労働組合の対応——政治的側面からみた労使関係の変容 五十嵐仁
資料紹介 造船業の「工数」管理（1957年）——撓鉄・電溶職場の予定工数・実際工数 山本 潔
書評と紹介 山口道宏編著『男性ヘルパーという仕事——高齢・在宅・介護を支える』 西尾孝司
河村貞枝・今井けい編『イギリス近現代女性史研究入門』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2006年度総目次

OISR.ORGの窓 [8] 戦前期写真約千点をデータベースで公開 若杉隆志

所 報 2006年11月